

NPO法人

いしかわ多胎ネット

ニュース・レター

2019. 秋号
No.20

ごあいさつ

新しい元号となり新しい時代になろうとしています。「妊娠期からの切れ目のない支援」の為に関係機関と連携し小回りのきいた活動を目指しています。今後も全国の情報を探りながらすべての多胎ファミリーに平等に支援が行き届けられるよう活動していきたいと思っております。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

イベント 紹介

「プレ多胎ファミリー教室」

H30.9.29(土)、H31.3.16(土)、一白山市 おやこの広場 あさがお一年4回開催を目標に白山市と小松市で開催しているプレ教室。

土曜日に開催することでパパの参加も多くふたごパパに出会える貴重な場になっています。以前にプレファミリーとして参加した参加者が、今回は先輩ファミリーとして参加しており、出産前のイメージと実際のギャップなど貴重な「体験談」を聞くことができます。託児を同じフロアで行うことでプレ家族が近い将来の自分たちを想像でき、賑やかでもあり微笑ましい会となっております。(のべ参加者:多胎家族15組 参加人数大人27名子供19名)



「多胎ファミリーBBQ交流会」

令和元.7.6(日) 一白山市 白山吉野オートキャンプ場ー

すっかり恒例行事となりました夏のBBQ交流会。雨の合間の開催となりましたが、暑すぎない程よい晴天となりました。小さい子供がいるとなかなか参加しづらい行事ですが、学生ボランティアのお手伝いもあり、みんなで協力しながら楽しい時間を過ごしました。今回は参加希望者が多く、場所と人数の関係でお断りをするほどでした。来年も同じ場所で予定をしておりますので、ぜひご参加ください。

(参加者:多胎家族7組 参加人数38名)



「クリスマス会」

H30.12.16(日) 一金沢市 金沢市教育プラザ富樫ー

毎年北陸学院大学の学生さんが可愛い出し物を披露してくださる「クリスマス会」。小さい子供でも参加できる内容で、楽しい時間を過ごしました。学生さんが出し物の後に残って子どもたちと遊んでくれたので、ママたちの交流会を開きました。家族の記念写真をおみやげにお持ち帰りいただきました。

(参加者:多胎家族5組 参加人数22名)



「子育て支援メッセいしかわ2018」



H30.11.4(日)

一金沢市 産業展示館 4号館一

「一般の方に多胎の妊娠・育児を知ってもらう」をテーマに毎年参加しているメッセ。昨年に引き続き「双子育児の世界」のパネル展示と6ヶ月の赤ちゃんが必要な粉ミルクとオムツを展示。「ふたごクイズ」や「多胎妊婦体験」に挑戦してもらいました。

今年は「双子同時抱っこひも」が新たに登場して、来場者の目を引いていました。

(参加者:多胎家族8組 多胎妊婦体験30名 双子抱っこ体験45名

ふたごクイズ66名 参加人数140名)

「ツインズデーに乾杯」

2019.2.16(土)

一小松市 多世代交流拠点 しあわせのいえー

今回は少し趣向を変え、「突然の災害に備え避難用リュックに準備しておく物、普段からカバンに入れておく物」について体験談をもとに助産師の山岸さんから講話をおこない、最後に全員で乾杯をしました。

小松市だけでなく、白山市・加賀市・能美市の多胎ファミリーの参加がありました。

(参加者:多胎家族11組 参加人数39名)



家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」って知ってますか？

地域の先輩ママボランティアが無償で子育て中のままの話を聞いたり一緒に家事をしたり子供と遊んだりする家庭訪問型子育て支援です。

6歳以下(未就学児)のお子さんのいるご家庭であればどなたでも利用できます。

利用料金は無料です。

1回2時間を目安に先輩ママが定期的に複数回訪問します。

※離乳食・お風呂の手伝い、公園へ一緒に出掛けたりなどの子育てサポートをします。

検診や予防接種の同行にも利用できます。(ヘルパー事業とは違います)

石川県では「白山市」「加賀市」が実施しています。

お住いの自治体でない場合でも利用することがあります。一度ご相談ください。



ホームスタート・はくさん【認定NPO法人おやこの広場あさがお】

076-275-8677 kosodateasagao@blue.ocn.ne.jp <http://oyako-asagao.com/>

ホームスタート・かが【NPO法人かもママ】

0761-78-4747 oyakohot@trad.ocn.ne.jp <http://kamomama.com/>

※「ホームスタート・かなざわ」は2019年4月より活動を休止しております。

愛知県三つ子二男虐待死事件について考える

2019.6.29 JANBA（日本多胎支援協会）全国フォーラム 記者会見資料より

2018年1月 愛知県豊田市にて母親が三つ子の二男（生後11ヶ月）を畳に二回投げつけ暴行。その後頭蓋冠骨折・びまん性脳損傷にて死亡。2019年3月、名古屋地方裁判所は、傷害致死罪に問われた母親に対して3年6ヶ月の実刑判決を下しました。

この判決を受け、一般社団法人日本多胎支援協会では「多胎育児者の置かれている過酷な育児の実態及びそれを支援する制度や社会資源の問題点を十分に検討すること」と「判決を減刑にすること」を求め署名活動を行い当団体も活動に賛同し、9月までに全国で13000筆以上の署名が集まりました。署名活動中、「あの状態なら誰でも事件を起こしておかしくなかった」「SOSが発信されていたのに、どこの支援にもつながらなかったのが残念でならない」「支援さえあれば防げた事件だったのに判決は納得いかない」などの意見が寄せられました。

今回の事件は「多胎では妊娠中から、産後の虐待のリスクが高くなることが予想されたにも関わらず、支援が届かない過酷で孤立した育児環境の中で起こった事件であり、防ぐことのできた事件だった」と考えられます。これは、2003年以降0才児の多胎虐待事件で初めての「実刑判決」で、TVニュースなどで大きく取り上げられている虐待事件の影響を受けたのではないかと推測されます。

そして先日2019年9月24日名古屋高等裁判所裁判長から控訴棄却の判決言い渡しが大変残念ながらありました。

<事件の概要>

- ・母親は二年間の不妊治療の後、三つ子を妊娠
- ・待望の妊娠ということもあり、4回のプレパママ教室に参加（行政主催2回・病院主催2回）
→多胎に関する指導は受けられず、多胎育児には人手が必要なこと・極度の睡眠不足常態化すること・外出困難になることなどについて知る機会はなかった
- ・妊娠経過は順調。2017年1月帝王切開により33週で三つ子を出産。長男・長女は1800g台、二男は1050g。子供はNICUに入院
- ・母親は先に退院。2月下旬より4月にかけて長女、二男、長男と順次退院
- ・母親の実家にて育児がスタートするも、実家は飲食業を営んでおり子供の鳴き声が迷惑をかけていると考え申し訳なく感じる
- ・5月父親が半年の育児休暇を取得。夫婦の自宅に戻る。→自宅はエレベーターの無い4階
- ・帰宅にあたり地域の担当保健師に連絡、家庭訪問を受ける
→保健師は二男について「筋緊張があり表情が少なく音に敏感」と観察。母親からは吐き戻しも多くよく泣くので大変と聞き取る
- ・6月長女、長男の順で一人ずつ市の4ヶ月健診につれていく。長女の健診時、長男・二男の口を塞いだことがあると担当者に告げる
→担当者は長男の健診時に改めて聞くと告げる
- ・長男の健診時、背中にあざがあることが判明
→「虐待リスク有り」として地域の担当保健師に電話と書面にて連絡
→二男の健診時に面接を予定
→二男は病院で健診を行ったため、面接は行われずそのことは市から地域の保健師にも連絡されなかった
- ・8月、母親が子ども園への入園について市へ相談
→年度途中に3人同時の入園は難しいと説明を受ける
- ・11月、父親が職場復帰し、母親は外出困難な自宅で三つ子とのみ向き合う生活となる
→11月頃からうつ病を有していたと見られる。→12月頃から自殺念慮も自覚するようになる
- ・1月、二男の病院健診にて発達センターの受診を勧められ、発達センターにて二男の育て難さを感じ、二男と二人きりになることに危機感を感じると訴える
- ・父親に乳児院へ預けたい、泣き声がすると死にたくなると訴える
- ・1月7日、次男へ対して1度目の投げ落としを行う
- ・1月11日父親の入浴中、二男が激しく泣き、次いで長女も泣き始め、母親は二男の泣き声に耐えられなくなり畳の上に2回たたきつける暴行を行う
- ・数時間後、二男が青い顔をして息をしていないため、119番に通報

多胎における虐待は、睡眠不足からくる精神的・身体的疲労、外出の困難さ、周囲からの理解が得られにくい「孤立感」が蓄積され一時的な極限状態で起こることが多いと知られています。多胎家庭に妊娠中から必要な情報を与え、事前にどのような支援が必要でどのようなサービスが提供できるか、行政・地域の民間団体など地域ぐるみで支援していくことが必要です。

ここ石川県では全国に先立ち「多胎ネット」が設立され14年間活動を行っておりますが、すべての多胎家庭へ同じように支援や情報が与えられているかというと、まだまだ途上です。今回のような事件が二度と起こらないように、すべての多胎家庭が安心して子育てできるように、行政・医療・福祉など多くの支援者とともに取り組み、社会全体に支援の必要性を広く理解されるよう活動を継続して行きます。

多胎教室やつどいの情報 (2019年度)

多胎児教室 にこにこメイツ

主催：金沢市福祉健康センター

①7/10(水) 元町(076-251-0200) ②11/21(木) 泉野
(076-242-1131) ③3/3(火) 駅西(076-234-5103)

託児有。要事前申込。各センターにお問合せください。

多胎妊婦のつどい

主催：石川中央福祉健康センター

①7/29(月) げんきっこ ②11/25(月) 菅原
③3/6(金) げんきっこ

詳細・申込はセンターまで076-275-2250

二人っ子三人っ子のママのつどい

主催：石川中央保健福祉センター

①8/1(木) かほく市宇ノ気 ②11/27(水) 内灘町
③3/2(月) かほく市宇ノ気

詳細・申込はセンターまで076-275-2250

双子ちゃんデー

主催：野々市市子育て支援センター菅原

毎週月曜日8:30～12:00

(第2月曜日は先輩ママがいます)

双子ちゃん集まれ

主催：かほく市子ども総合センター

毎月第4木曜日 10:00～11:00

詳細はセンターまで076-283-4320

ふたごちゃんみつごちゃん

能美市子育て支援センター 不定期開催中

詳細はセンター又はHP にこにこ通信まで

0761-58-8200 <http://www.city.nomi.ishikawa.jp/>

ひろばやサークル

ツインズデー

おやこの広場 あさがお(白山市)

毎月第1月曜日 9:30～16:00

昼食もたべられます(祭日の場合変更有り)

076-275-8677 <http://oyako-asagao.com/>

多胎児親子解放

子育てひろば さくらんぼ(白山市)

毎週金曜日 9:00～14:00

076-255-7607 <http://sakuranbo.sweet.coocan.jp/>

多胎児サークル

ほっとらんど

毎月第3木曜日 10:00～14:00

活動場所：青竜幼稚園所有のログハウス「青竜ランド」

金沢市額新保1-198

<http://hottwins.seesaa.net/>

多胎サークル

ピーナッツ・キッズ・クラブ

偶数月第3土曜日 & 第4木曜日の子育てはっぴー～る～む

活動場所：多世代交流拠点「しあわせのいえ」

小松市八幡106 0761-47-0309

Blog：<http://pkidsclub.blog82.fc2.com/>

↑【ピーナッツキッズクラブ】にて検索

多胎サークル

ルルロロ

毎月第4土曜日 10:00～

活動場所：かほく市 宇ノ気支子育て援センター「おひさま」

かほく市宇野気二110-1(宇ノ気生涯学習センター内)

[http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/](http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/content/kosodate/katudo.html)

[content/kosodate/katudo.html](http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/content/kosodate/katudo.html)



10/19(土) プレ多胎ファミリー教室in小松

10/20(日) 子育て支援メッセいしかわ2019

12/8(日) クリスマス会 in 金沢

12/21(土) クリスマス会 in 小松

2/20(木) 多胎支援研修会(仮)

2/22(土) ツインズデーに乾杯

3/28(土) プレ多胎ファミリー教室

石川県のふたご・みつご以上の家庭を支援するグループ

いしかわ多胎ネット

<http://ishikawa-tatai.net/>

Email: i-tatai@apost.plala.or.jp

いしかわ多胎ネット

検索

お問い合わせ・連絡先

NPO法人 いしかわ多胎ネット 事務局

〒921-8152 石川県金沢市高尾3-71-4

TEL/FAX: 076-287-0888

志村 恵(電話・FAX)

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学人間社会学域

TEL: 076-264-5345 FAX: 076-264-5362

Email: mshimura@staff.kanazawa-u.ac.jp